

# つるべ荘の歩み

(福志会松任含む)

## 誕生

### 地域の願いを形に

#### H15.8月 社会福祉法人 福志会松任設立

介護保険が始まった当時は特養の待機者があふれており、200人待ちもざらでした。この待機者解消のため、地域福祉の志のもと、つるべ荘を開設しました。ユニットケアも先駆事例がほとんどなく、個室、個浴、キッチンなど「収容から暮らし」を意識した施設は注目をされました。(島野)

#### H16.10月 つるべ荘開設

(定員特養70名、ショート10名、デイサービス20名)

## 法人理念 制定

「健心共和」

健やかに 心豊かに 共に楽しく 和をもって

期間	理事長	期間	施設長
H15.8月～	安實 吉直	H16.10月～	広瀬 正
H19.4月～	松下 光男	H18.1月～	松田 俊夫
		H23.5月～	東 孝義
H27.10月～	西村 美規夫	H28.4月～	堀 輝夫
		R4.10月～ (代理1年含む)	島野 桂太郎

## 初期

### 行事の充実で魅力ある施設に

H16～H21

(当時の思い出)



おやつ時間

昼食になると、入居者と職員と一緒に食事をしていました。テーブルを囲みお話ししながら、和気あいあいとまるで皆家族のようでした。当初からユニットケアを行っていた所もあり、素敵な時間でした。(中川)

H17. 6月 「つるべ荘だより」創刊

7月 第1回納涼祭開催

9月 第1回長寿を祝う会開催

10月 介護保険制度改正

H18. 4月 介護予防サービス開始

当館のシンボル つるべ

(デイサービス・ショート要支援1,2の方も可能に)

集団レクリエーション (作業療法士による)

音楽会 (音楽療法)

俳句会

法話

ちぎり絵 (ボランティアによる)

縫物教室 (機能訓練士・ボランティアによる)

ふれあい菜園 (園芸療法)

もちつき会

誕生日会

クリスマス会

満足度調査

家族会

委員会の活用

研修会の充実



レクリエーション



芋ほり



お茶会



研修会

## 拡張期

### 福祉制度の確立と施設の拡大

H22～H25

この頃から民間の介護事業所も増え、サービスの多様性、選べる時代の始まりでした。インターネットなどの情報もスマホも無く、当時生活相談員として職務に就いており、自身の知識も乏しいこともあり、事業所同士でネットワークを作り、日々情報交換や困難事例の共有を図り、地域の福祉サービスの底上げや、弊社の名前を地域に広めることを念頭に奮闘していました。(中嶋)



たこ焼きづくり



生け花教室

H22. 7月 つるべ荘増築工事

(夜間通用口、宿直室、トイレ、交流室)

市立保育所の民営化により

H25. 4月 「あさひ保育園」開設

H25. 10月 つるべ荘10周年

職員の交流会

つるべ荘



その頃のデイサービスは利用者も少なく経営の安定が命題でした。つるべ荘のデイサービスには特色がないとケアマネージャー様から言われ、どうすればいいか悩みましたが、「全てにおいて他デイサービスよりも優れている必要はない。限られた資源の中で、自分たちの強みを見出し、利用者様に満足してもらえるサービスを一貫して行いましょう!」という主任の言葉でした。利用者が少ない分、時間に追われることなくゆったりと職員との関わりや入浴が出来る。入浴だけの時短利用など利用者・家族の思いやニーズに寄り添う事で、稼働率も自然とアップしていきました。

今ではその頃の家族様が利用者として来られ、その頃の評判が今でも評価して頂けていると感謝しております。(横井)



## 変革期Ⅰ ユニットケアの見直し

H26～H30

H26当時は、流れ作業のケアから脱却できず、暗闇の中でキャッチボールをしているような感覚でした。重度化を理由にユニットケアをいったん中止し、温冷配膳車が導入され、一番苦しかった時期でした。心が折れてやめようかと思った時に、当時の同期の仲間に支えられ、励まされ、今日があります。いつか花開くという信念を希望に持ちながら、日々仕事をしていました。

H29年にユニットケアフォーラムIN高山で、「あなたらしく生きる～腸が生きる力をくれる」という分科会内容に感銘し、ユニットケアセンター長（当時）の秋葉都子氏、白駒の森の澤田キヌ子施設長と出会い、H30年冬に長野県の特養白駒の森に見学に行かせて頂きました。

腸内環境の改善で尊厳を守り、食べて出して排泄、楽しみ営みを個別に見る事の大切さ、介護はその人の暮らしを守るお手伝いをする仕事なんだ！！と再確認でき、涙がこぼれました。ここから、つるべ荘の個別ケアプロジェクトがスタートしました。（西田）

## 変革期Ⅱ 新しいユニットケアの取組

R1～5

以前は、暗黙の了解で7時までに殆どの入居者様が夜勤明け職員の都合で起こされ、朝食の時間まで食堂（当時の言い方）で待っていました。排泄面では使用済みパットを素手で持ち歩き、周囲の方に配慮なくなされていました。また、設えでは「ザ施設」という感じの素っ気ないリビングと居室でした。当時はそれが当たり前のケアであり、もっと良くしたいという思いは誰しもありました。

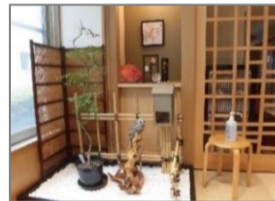
ユニットケアに巡り合え、「個別ケアや普通の暮らしとは何か」を具体的に考える機会ではなかったかと思えます。少しずつ継続しながら強い信念を持ち、お互いを思いやり、良い上司と理解してくれる職員がいたからこそ、これまで頑張ってきた。勿論、更にこれからも皆さんに愛される施設になれるよう努力し、頑張っていきます。（西川）

R3.10月 売店”つるべ”開店

R4.2月 ユニット玄関  
（入口扉）設置

R5.1月 ユニットケアリーダー研修  
実施研修施設の認定授与

R5.11月 第1回ユニットケア  
リーダー研修実施



ユニット入口



つるべ荘管理職リーダー

## 充実期 自分らしい暮らしの実現

R6～



リビング



個室

現在私たちは、ユニットリーダー研修実地研修施設となることが出来ましたが、ここがゴールではなく、新たなスタートとして、更にチームとしての向上を目指し努力しているところです。

その努力をこれからも「志向・思考・試行」して、つるべ荘に住まわれている入居者様が喜びを感じ、職員もともに喜びを感じられるユニットケアを求めて向上して参ります。（竹澤）

H26. 食事の形態の見直し

幼保連携型認定こども園

H28. 4月 「あさひこども園」へ移行

H29. 口腔ケア、排泄プロジェクト開始

H30. 10月 居宅介護支援センター開設（交流室を事務所に）

H30. ユニットケアリーダー研修実施研修施設見学

目標 作成

「おいしく食べて すっきり出す ぐっすり眠る  
普通の暮らしを支援する」



炊立てご飯



ある日の食事

R2. 1月 ユニット炊飯

2月 コロナウィルスまん延により面会中止

7月 コロナウィルスまん延により全体行事中止  
（各ユニットで）

10月 施設理念策定

「みんなの幸せ みんなで創る つるべ荘」  
感謝・やさしさ・あたたかさを大切に

R3. 2月 つるべ荘プロモーションビデオ作成

6月 コロナウィルスまん延防止等重点措置解除により  
リモート面会開始

12月 理念手帳（つるべの心）作成

R4. 11月 コロナ禍で中止になっていた  
演奏会や音楽会・喫茶店を再開



売店マスコット

R5. 2月 家族交流会再開

7月 4年ぶりに納涼祭り開催

10月 長寿を祝う会開催

12月 書道教室（月1回）開始

12月 クリスマス会開催 “つるべ荘の歌”作成



喫茶コーナー

R6. 5月 居室での面会開始(状況により中止やロビー面会)

7月 つるべ荘マニュアル改訂版作成

R6. 7月 「あさひ児童センター」に指定管理受託

R6. 10月 白山市地域包括支援センター光野の運営開始

R6. 10月 つるべ荘20周年記念式典・祝賀会開催

あさひこども園



あさひ児童センター



地域包括支援センター  
光野